

# 工事成績採点表

工事名		工事場所					契約金額(最終)					検査番号																				
契約者		現場代理人			主任・監理技術者			工期					完成日																			
考 査 項 目		専任監督員					主任監督員					総括監督員					検査員(指定部分完成時)					検査員(完成時)										
		氏名					氏名					氏名					氏名					氏名										
項 目	細 別	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般																															
	II. 配置技術者																															
2. 施工状況	I. 施工管理																															
	II. 工程管理																															
	III. 安全対策																															
	IV. 対外関係																															
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形																															
	II. 品質																															
	III. 出来ばえ																															
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応 ※2																															
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※3																															
6. 社会性等	I. 地域への貢献等																															
加減点合計 ※1		± 点					点					点					点															
評定点(65±加減点合計)		① 点					② 点					③ 点					④ 点															
評 定 点 計 ※6		点					○指定部分完成検査があった場合：①×0.4+②×0.2+③×0.2+④×0.2 ※但し、③(指定部分完成)が2回以上の場合には平均値 ○指定部分完成検査がなかった場合：①×0.4+②×0.2+④×0.4																									
7. 法令遵守等 ※3							点																									
8. 総合評価 技術提案履行確認 ※8							履行 不履行 対象外																									
評定点合計 ※7		○評定点計( 点) - 7. 法令遵守等( 点) = 点																														
所 見 ※5		(専任監督員)					(主任監督員)					(総括監督員)					(検査員)															

- ※1 65点±加減点合計(1+2+3+4+5+6)とする。各評定点(①～④)は小数第1位まで記入する。
- ※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。
- ※3 創意工夫は、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき評価内容があった場合に評価する項目である。
- ※4 4、5、6は加点評価のみとする。また、法令遵守等は、減点評価のみとし、評価は2次評価が行う。
- ※5 所見は必ず記載するものとする。
- ※6 評定点計は、検査員が記入する。評定点計は、小数点以下第2位の数値を四捨五入し、小数点以下第1位までの数値とする。
- ※7 評定点合計は、検査員が記入する。評定点合計は、小数点以下第1位の数値を四捨五入し、整数とする。
- ※8 総合評価技術提案は、技術提案の履行が確認できない場合は、『不履行』を選択する。なお、総合評価技術提案不履行の場合、法令順守等で減点する。
- ※各考査項目ごとの採点は、専任監督員、主任監督員、総括監督員は別紙の工事成績採点の各考査項目別運用表によるものとする。工事完成検査の評価に先立ち、専任監督員、主任監督員、総括監督員が記入する。